

私たちの力で沼津駅の高架化を実現しよう



市民の会

沼津駅の高架化の実現

かけはし

主な記事

- 世紀の事業「未来都市ぬまづ」……………(1)
- Coffee Time 談話室……………(2)
- 現地レポート……………(3)
- 私の主張……………(3)
- 会の動き……………(3)
- 情報提供
街が生まれ変わります……………(4)

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410-0832沼津市御幸町14-5(沼津商工会議所内) TEL<0559>31-1111代・FAX<0559>31-1115



百年の計 世紀の事業「未来都市ぬまづ」の 一日も早い実現!!

県・市が一体となり、関係機関ならびに地権者の協力と沼津駅の高架化を実現する市民の会の後押しにより進めている世紀の大プロジェクト『沼津駅周辺総合整備事業』は、沼津市が県東部の中心都市として誇れる顔づくり・魅力ある都心づくりを行うことをめざし、現在、鉄道

高架の都市計画決定に向け、一步一步着実に不転の事業として進んでいます。そこで、市民の会事務局では、沼津駅周辺総合整備事業の内容について市に取材をしましたので、市民の会の活動報告と共にお知らせします。

沼津の吸引力を 増します

現在、沼津市では中心市街地における居住人口の減少、近隣市町村への郊外型店舗の相次ぐ出店、周辺都市の台頭などにより都心活力の低下が問題となっています。沼津駅周辺総合整備事業は、このような都心に活力を与えるための事業です。

この事業は、沼津市の財産である豊かな自然環境と都市総合力を背景に、今後とも沼津市が県東部の中核的な都市としての役割を担っていくにふさわしい人・物・情報の交流拠点としての都心づくりを行うことをめざしています。

この事業による都心への社会資本の投下は、快適なライフスタイルを生み出し、人と人との交流、産業界間の交流を活発にし、新しい文化とそれをベースにした都市産業をも生み出す大きな可能性を秘めており、将来の沼津のまちづくりには必ずや生かされるものと期待されています。

事業内容発表

鉄道高架事業の概略設計の内容とそれに基づき試算した概算事業費等が発表されました。

鉄道高架事業

◎計画内容

《都市計画決定区間》

- 東海道本線約十四・九七km
- (長泉町下土狩～富士市東柏原新田)
- 御殿場線約二・三六km
- (大岡中石田～沼津駅)

《高架化区間》

- 東海道本線約三・九km
- (大岡団地付近～片浜付近)
- 御殿場線約一・六km
- (大岡団地付近～沼津駅)

《旅客ホーム》

- 三面六線

《移転する鉄道施設》

- 車両基地(片浜地区を予定)
- 貨物駅(原西部地区を予定)

《立体交差化される幹線道路数》

- 七路線
- (国道一路線、県道一路線、市道五路線)

《除去される踏切数》

- 十三ヶ所
- (東海道本線十二ヶ所、御殿場線一ヶ所)

《概算事業費》

- 約九百二十五億円
- 関連事業費約二百七十億円

《都市計画決定の時期》

早期に都市計画決定ができるよう、関係機関と協議・調整をしています。

地元説明会が 開催されました

平成十年に入り、鉄道高架の配線計画案についての説明会が開催されました。

車両基地移転先地区については、一月から二月に、貨物駅移転先地区については、四月から五月に、高架本体関係地区については、五月から八月にかけて行われました。

その後、十月に県による概略設計の精査が行われたことに伴い、この内容を盛り込んだ鉄道高架の都市計画原案についての説明会が十年十二月から十一年三月にかけて関係自治会等を対象に開催され、都市計画原案に対する質問や意見が出されました。

情報提供による 対話と理解

土地区画整理事業は、鉄道高架の都市計画決定を踏まえて、事業認可の取得をめざしています。

現在、市は公共施設計画などを内容とする事業計画案作成のため、関係機関との協議・調整を進めています。

また地権者へは、情報紙の発行や懇談会開催などを通じて、不安や疑問の解消に努めています。

地権者懇談会は、沼津駅南地区では七回(平成十年九月一日から十一日)実施されました。



●マルチメディアフェア



●ふじのくにいずのくにメッセ'99

内容としては、事業の取り組み状況の報告後、土地区画整理事業の仕組み、公園や区画道路などの公共施設の配置計画について、ビデオやパンフレットを用いての説明があり、その後、意見交換が行われました。

駅北地区は、九回(平成十年九月十八日から十九日)行われました。内容としては、事業の取り組み状況を報告後、土地利用計画図(案)やイメージ図を基に、ビデオや模型を用いて街の将来像を示しながらの説明があり、その後、意見交換が行われました。

のぞいて見ませんか

キラメッセぬまづは、沼津駅周辺総合整備事業による将来の拠点施設計画を検討するための先導的・実験的施設として建設

されました。

平成十年十月の開館より十一月三月末までの見込みによる六ヶ月間の利用率は七十四・二%と高く、事前に市の見込んだ六十五%の稼働目標を九・二ポイントも上回っており、県からも高い評価を得ています。

延べ入場者数は約三十五万人を数え、オープン時のマルチメディアフェアの入場者数は三日間で約六万人と、前回、ツインメッセ静岡で行われた同事業と比べて一万人も多く、駅に近接する施設としての利点が生かされた結果となり、活力あふれる中心市街地の形成に役立つ施設となっております。

今後も、この施設がより多くの方々に活用されることにより、人・物・情報の交流発信拠点としての役割が、さらに増すものと期待されています。

Coffee Time 談話室

一市民Aさんと市民の会Bさんが今日もコーヒーを飲みながら、駅周辺の問題について世間話をしていました。

A 概略設計って何ですか。
B 事業を実施するための詳細な設計の前に全体像をつかむためのものです。あなたも家を建てる時「間取り」をしたでしょう。
A それをもとに鉄道高架化を含む駅周辺事業全体の事業費が出ましたね、約二十億円とか。この全体事業費って何のことですか。
B 鉄道高架事業、土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路整備事業の各事業の概略設計に基づいて試算した金額の合計のことです。
A 約二十億円はすごい金額ですね。
B このお金をすべて沼津市が負担するわけではなく、この内、沼津市の負担分は約八百億円を見込んでいます。
A 高額ですが大丈夫ですか。
B 昭和六十三年よりこの事業

のために積立てた基金が、現在約二百九十億円(内、事業促進用地取得済額約百二十億円)あります。

この基金をうまく活用し、国、県の補助もいただきながら実施していけば大丈夫と伺っています。

A この事業による効果は、全部完成しないと現れないのですか。
B 色々今と今できることを考えているようです。
A 「キラメッセぬまづ」もそうですか。
B 完成までつなぐ事業でもありませんし、実験的、先導的施設でもあります。
A 開館から半年経ちましたが、どんな状況ですか。
B 利用率は七十四・二%で、他市の同種の施設と比べても、きわめて高い数字となっております。

A 鉄道高架の都市計画決定って何ですか。
B 鉄道高架が都市計画の事業で行うことが位置づけられることです。この決定が行われると、次に事業の認可を得て、事業実施に入ることができま

A どこで決定するのですか。
B 静岡県の「都市計画地方審議会」の承認を経て、建設大臣の認可を受け、県知事が決定します。
A バリアフリーという言葉がは

やりですね。どんなことをするのですか。
B これから高齢化が進み、歩行者にもやさしい街づくりが必要ですね。道の段差を無くしたり、障害物を無くしたり、場所によっては手すりを付けたり、エレベーターやエスカレーターを設置して、だれもが安心して安全に暮らせる配慮をすることです。
A 今、南北通行が不便ですね。
B 色々考えている様です。
A 例えば駅にエスカレーターがあるといいですね。
B 私も他の駅で便利に使っています。
A 道路についても話をしましょう。
B 新しく作ったり広げたりする道路が二十四本もあり、二十六ヶ所も改良されます。
A 車のことばかり考えていませんか。

B 今、駅付近で歩行者が鉄道を南北に横断できる場所は、三ツ目ガード、中央ガード、職道ガードの三ヶ所ですが、それが十二ヶ所に増えます。
A 便利になりますね。
B ガードの間隔も平均で約六百メートルだったものが、約百メートルになります。
A 自転車族にとってはどうなんですか。
B 高架下利用で駐輪場の利用が格段と良くなりそうです。
A 高架を万里の長城と言う人も

います。
B 沼津の計画に似た工事中の小田急線の高架を見ましたが、住宅地の中でも存在があまり気になりませんでした。
A バス停はどうなりますか。
B 駅前広場が広がるので北口にもバスゾーンができますよ。
A 踏切が十三ヶ所も無くなるそうです。
B 停車・発進時の排気ガスや騒音が少なくなるので、特に付近の住民にとっては喜ばしいことですね。
A 三ツ目ガードが暗い、低い、汚いですね。
B 天井高が三・三メートルから四・七メートル以上となり四車線となるので、大型車やハシゴ車も通ることができるようになります。
A 説明会の時に、イメージ図を使っているようですが、イメージ図って何のことですか。
B 想像しやすく絵にしたものです。
A そこに描いてある建物が建つのですか。
B 建ちません。こんな物ができたらという夢です。
A 早くできるといいですね。
B 本当ですね。

早く完成した姿を見たい気持ちは皆同じですね。
(市民の会調べ)

現地レポート

府中駅・経堂駅付近鉄道高架化事業
視察見学会に参加して

沼津市消費者協会理事 今井 律子



●府中駅付近高架下利用(福祉施設)

二月三日、節分の小雪が舞う寒い日、府中駅・経堂駅付近鉄道高架化事業の視察見学会に参加させていただきました。

「百聞は一見に如かず」の諺どおり、大変勉強になった一日でした。私なりに感じた事を報告させていただきます。

府中市は、人口は沼津市とはほぼ同じくらいです。高架化になった府中駅を軸に、南口にはキータナントとして伊勢丹が誘致され、地下三階、地上九階建てのモダンなビルで、駅からは歩



●環境対策(防音壁、防音装置)

行者空間で結ばれ、とても便利のようです。条件のよさからか、来街客も当初見込んでいた数

大幅に増加し、売り上げ目標も伸びているようです。平成十一年三月で三年目を迎えますが、順調に営業を続けているとの事でした。

高架下の利用については、駐輪場、市民ギャラリー、リサイクル展示場、障害者運営の喫茶店等も作られており、今後、沼津市が市民の声を聞きながら、高架下の利用を考えていく上で、このような使い方が参考になるのではないかなと思いました。

いつの世もそうでしょうが、新しく物を作り変える事の大変さを、視察を通して実感しました。また、小田急小田原線の経堂駅の高架化現場も見学いたしました。さすが小田急線だけあり、

列車の本数も多く、説明を聞いている間も何度も声をささげられました。踏み切りは一時間に五十分も閉まっている所があるそうです。このような状況のため、鉄道の高架化が必要になったのとは感じました。

専門的な事はよく分かりませんが、防音や振動に対する技術の進歩はすばらしく、また、壁や柱にしても、自然の環境にマッチした、見た目にも美しい作りです。

沼津も駅高架や駅周辺の整備と共に、魅力ある街にするために、文化面や観光面も同時に整備し、住む人がよかったねと思える、そして来街者も行って見たいな!と足を運んでもらえる、そんな賑わいのある活気のある街づくりを、市民も一緒にやってやっていきたいらいいなと思いました。

楽しく遊ぶという考え方の定着と、子どもの遊びを見守り支援する「プレイリーダー」が配置された冒険遊び場づくりを提案された。

今、子ども達は、心に様々な問題を抱えて生きています。心はどんなハイテクの時代にも一人ひとりを慈しみ素朴に手作りしていくほかにない。心は生きものである。この瞬間の喜びや痛みを感じて生きている。

高層の住宅が、人の心や体にどう影響を与えるかきちんと評価して、地域のより良い住環境形成に向けて建築界の頑張りをお願いするものである。

本来、子どもの遊びは大人が指導するものではないが、遊びの機能が失われつつある現在、大人が関わり、子どもに楽しい遊びを提供して、自分の責任で

用玄関のオートロックシステム操作ができない、エレベーター内の事件・事故、遊び場の確認が自宅からできにくい、住棟内での迷子の不安等、建物形態に配慮や安全性が欠けていることをあげられた。

また、子どもの遊びについて、子どもが遊びをしなくなった原因は、遊び場の絶対的な不足と遊ぶ暇がない、遊ぶ友達がいらない、遊び方が解らないの四つ、空間、時間、仲間、方法の欠かによるものと指摘された。

環境の影響を受けやすい幼児の外出行動自立の遅れや、屋外遊びの頻度にも影響を及ぼしていると考えられるとして、その要因を、エレベーターの操作、共

真の豊かさが体験できる空間づくりが課題とされてきた。こうした状況を背景に、二月十五日、東急ホテルに於いて、瀬渡章子先生を迎え、子どもの成長、発達に直接的・間接的に影響を及ぼすと考えられる住環境の問題を取り上げたまちづくりセミナーが開かれた。

○陳情
一月六日、県庁を訪ね、鉄道高架事業の推進について、石川県知事に陳情。

講師 奈良女子大学
生活環境学部助教 瀬渡 章子氏

②中心市街地に人が住みたくならないようなまちづくり
講師 神尾 眞氏

説明者 沼津市都市計画部沼津駅周辺整備事務局開発課長

①沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況について
加者八十四名

○まちづくりセミナーの開催
二月十五日、東急ホテル、参加者八十四名

○先進地視察
二月三日、小田急線経堂駅高架化事業について、京王線府中駅高架化事業・区画整理事業について視察研修、日野市高幡不動尊見学、三十五名参加

○正副会長会議
第一回 七月三日
総会提出議案検討

●第二回 一月二十一日
沼津駅周辺総合整備事業の取り組み状況報告

代表取締役 大橋南海子氏

講演 「女性とまちづくり」
講師 まちづくり工房

○定時会員総会
七月八日、東急ホテル、平成九年度事業報告及び収支決算、平成十年度事業計画及び収支予算承認、役員改選

会の動き



●景観対策(化粧型枠使用の防音壁、丸みをおびた桁、柱)

情報提供

静岡県と沼津市はこの度、沼津駅付近鉄道高架事業について事業内容をパンフレットで示しました。市民の会ではこの内容を要約して皆様にお知らせします。

歩行空間はバリアフリー



●4車線道路イメージ(高架、道路)

- ・鉄道と道路が立体交差化されます
- ・南北交通が円滑化されます
- ・交通渋滞が大幅に解消されます
- ・騒音や排ガスが少なくなります
- ・歩道も広く、ゆとりある快適な歩行者空間の確保が可能となります
- ・電線類の地中化が図れます
- ・段差のない明るい広幅員の歩行者空間の確保が可能となります
- ・広幅員道路が延焼防止のための防災空間となります
- ・緑あふれるうるおいのある景観の整備が図れます

まちづくりの新たな空間「高架下」

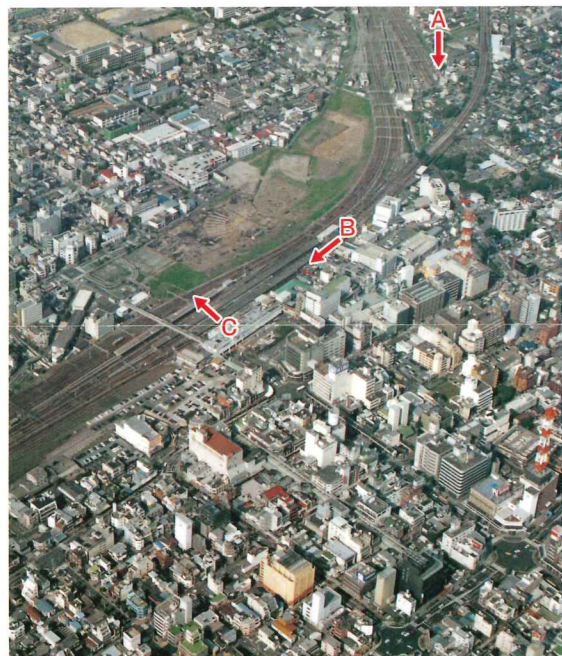
- ・鉄道を高架化することにより、約四万七千㎡の高架下利用空間が生み出されます
- ・市はこの高架下利用空間の内、約七千㎡を無償で使用できるようになり、駐輪場、公園などに利用できます

住居地域の高架下は？



●高架下利用イメージ(公園利用)

- ・住居地域となる御殿場線沿線は、公園的な整備により、うるおいとやすらぎの憩い空間となります



街が生まれ変わります 孫子のため是非とも必要な事業です

- ・商業地域の高架下は？
- ・街の中心に都会の顔



●高架下利用イメージ(商業利用)

- ・商業地域となる駅付近は、商業的な整備により、買い物客の利便性に配慮したにぎわい空間となります

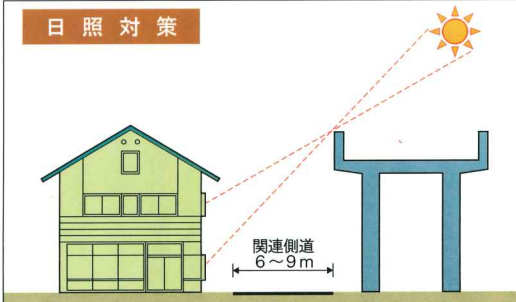
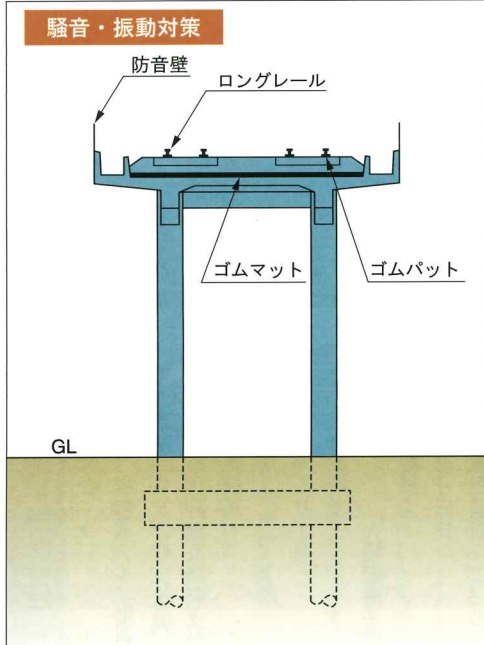


●コンコースイメージ

- ・南北の駅前広場を結ぶ歩行者専用通路ができます
- ・人の南北への行き来がスムーズになり、南北交流が活発化

環境問題に力を入れています

- ・駅中心部ににぎわいと活気に満ちた空間が生まれます
 - ・拠点都市としての顔づくりができます
 - ・ホームへの行き来が便利になります
 - ・南北通路にゆとりの空間が生まれ、待ち合わせや催事スペースとして利用できます
- 【騒音対策】
- 防音壁(レール高さ十約一五メートル)の設置
 - ロングレールの敷設
 - ゴムマット、ゴムパットの使用
 - 強固なコンクリート構造物の採用
- などの対策を講じ、減音効果を高めるよう努めます
- 【振動対策】
- 強固なコンクリート構造物を採用



- 基礎杭の設置
 - 日照対策
 - 電波障害対策
- などの対策を講じ、振動レベルの低減に努めます
- 高架構造物沿いに側道を設けます(幅員六・九メートル)
- 共同受信施設の設置や有線による各戸電送、個別アンテナの新設など、高架後に問題が生じないように努めます